

福島第一原子力発電所構内道路脇の側溝付近での火災について

平成 27 年 3 月 30 日
東京電力株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

平成 27 年 3 月 29 日午後 8 時 35 分頃、福島第一原子力発電所免震重要棟から西側へ向かう道路脇の側溝付近において、側溝内から煙が出ているとの連絡が当社社員から緊急時対策本部に入りました。

同日午後 8 時 39 分に双葉消防本部へ連絡し、午後 8 時 43 分に火元確認のため、当社社員（火元確認者）が現場へ出向するとともに、午後 8 時 46 分に自衛消防隊に対して現場への出動を要請し、現場に到着した当社社員により、同日午後 8 時 57 分頃から消火器を用いた初期消火を開始しました。午後 9 時 1 分に当社社員（火元確認者）が現場へ到着して確認したところ、側溝上に敷いてある鉄板の隙間より発煙があることを確認しました。午後 9 時 26 分、発煙は停止しました。

同日午後 9 時 45 分からの公設消防による現場確認においても発煙がないことを確認していただいております。なお、公設消防については、午後 10 時 10 分に発電所構内から退構しています。

その後、富岡消防署による現場確認の結果、本日午後 4 時 50 分に火災であると判断されるとともに、3 月 29 日午後 9 時 50 分に鎮火したと確認していただいております。

発電所構内ダストモニタおよびモニタリングポストの指示値に有意な変動はありませんでした。また、3 月 29 日午後 9 時 30 分現在、現場周辺のダスト放射能濃度を測定したところ、検出限界値未満（検出限界値： $8.2 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$ ）でした。（現場周辺の雰囲気線量は $5 \mu \text{Sv/h}$ ）

発煙の発生により、現時点で関連パラメータに異常はなく、けが人等は確認されていません。

当社にて側溝上に敷いてある鉄板を退けた上で側溝内を確認したところ、側溝内を通っている複数のケーブル・ホース類が約 5 m の範囲で損傷していることを確認しました。本日、側溝内を通っている複数のケーブル・ホース類について、現場調査した結果、9 本のケーブル・ホース類が通っていることを確認しました。確認したケーブル・ホース類については、以下の通りです。

- ・原子炉注水用ホース（仮設消防車用）1 本
- ・使用済み燃料プール補給用ホース（非常用）2 本
- ・No. 1, 2 純水タンク補給水用電動弁ケーブル 1 本
- ・No. 1, 2 純水タンクレベル計監視用電源ケーブル 1 本

- ・ 水処理メタクラ（A系）用電源ケーブル 1本
- ・ 残りの3本のケーブル・ホース類については、現在調査中

3月29日午後8時5分頃、5，6号機にある起動用変圧器にて地絡警報が発生いたしました。直ちに関連パラメータを確認したところ、電圧に異常がないことを確認しました。同日午後8時41分に発電所構内の水処理建屋*へ供給している電源のしゃ断器を開放したところ、地絡警報は解除しました。

*：発電所構内で使用するろ過水を作るための建屋であり、汚染水は扱っていない。

5，6号機の起動用変圧器5SA-2において発生した地絡警報は、水処理メタクラ（A系）用電源ケーブルが損傷したことにより発生したものと推定しました。

今後、火災の原因調査を行うとともに、損傷したケーブル・ホース類の応急措置等の検討を行ってまいります。

以 上